

平成25年度

京都大学
デザイン学大学院連携プログラム

学生募集（追加募集）要項

京都大学学際融合教育研究推進センター

デザイン学大学院連携ユニット

デザイン学大学院連携プログラムについて (アドミッション・ポリシー)

国際社会は今、温暖化、災害、エネルギー、食糧、人口など複合的な問題の解決を求めています。そこで本プログラムでは、異なる分野の専門家との協働によって「社会のシステムやアーキテクチャ」をデザインできる博士人材を育成します。またそのために、情報学や工学の基礎研究を結集し、複雑化する問題を解決するための、新たなデザイン方法論を構築します。これによって、Cyber（情報学など）とPhysical（工学など）の専門家が、経営学、心理学、芸術系の専門家と協働し問題解決が行えるよう教育を行います。要するに専門家の共通言語としてデザイン学を教育し、社会を変革する専門家を育成します。こうした人材を、ジェネラリストを意味する「T字型人材 (T-shaped people)」と対比させ、専門領域を超えて協働できる突出した専門家という意味を込めて「十字型人材 (+-shaped people)」と呼び、本プログラムにより養成すべき人材像とします。

(1) 人材養成の目的

「デザイン学大学院連携プログラム」では、産学官が参画しての多様な連携を通じて、国内外における異なる領域の専門家と協働し、社会のシステムやアーキテクチャをデザインできる、突出した実践力（独創力+俯瞰力）を持つデザイン学リーダーを育成します。

(2) アドミッション・ポリシー

幅広い知識と深い専門性、柔軟な思考力、強い意志と実行力を併せ持ち、社会の様々な場面においてリーダーとして活躍する人材を養成することは、京都大学の使命であるとともに、産学官各界ひいては社会全体の強い要請でもあります。

この要請に応えるために、本プログラムを通じて修得すべき知識と能力は以下のとおりです。

- ・ 情報学、機械工学、建築学、経営学、心理学のいずれかを主領域とするデザイン学領域科目を学修するとともに、他の領域を副領域として学修することにより得られる、複数の領域に跨る課題解決のための専門知識。
- ・ 領域横断的なデザイン学共通科目を学修することにより得られる、複合的な課題解決のためのデザイン方法論。
- ・ 社会の実問題を捉える問題発見型演習 (FBL) と問題解決型演習 (PBL)、海外インターンシップ、フィールドインターンシップなどによって鍛えられる、専門領域を超えて協働に取り組む能力。
- ・ 複合的かつ実践的な課題について研究し学位論文にまとめることを通じて、実社会からの要求に応えられ、新しい社会のシステムやアーキテクチャを創出できる能力。

- ・ 国際的かつ学際的な問題解決に寄与するためのリーダーシップとコミュニケーション能力。

本プログラムでは、上記の知識と能力の修得に強い意欲をもち、デザイン学の修得と実践的な研究に適した学生を選抜します。選抜に際しては、語学力、コミュニケーション力、企画力、実行力や、これまでの社会活動等を勘案します。

本プログラムには、募集年度の4月に表1のいずれかの研究科・専攻の博士前期課程（修士課程）あるいは前期後期一貫の博士課程に入学した者が応募できます。なお、情報学研究科においては、前年度の10月に博士前期課程（修士課程）に入学している者も出願資格を有します。国籍・性別・年齢は問いません。

4月にプログラム履修候補生を募集し、原則として5月～9月に予科を設けます。9月末に候補生の中から20名をプログラム履修者として選抜し、10月から本格的にこのプログラムに参加して戴きます。5年一貫の博士課程にチャレンジし、グローバルリーダーを目指す優秀な若者の成長と活躍を期待しています。

表1 デザイン学大学院連携プログラムに参画している研究科・専攻

教育学研究科	教育科学専攻
工学研究科	建築学専攻、機械理工学専攻、マイクロエンジニアリング専攻、航空宇宙工学専攻
情報学研究科	知能情報学専攻、社会情報学専攻、数理工学専攻、システム科学専攻、通信情報システム専攻
経営管理教育部	経営管理専攻

I. 追加募集人員

プログラム履修候補生（予科生） 若干名

II. 出願資格

平成25年4月に以下の研究科・専攻の博士前期課程（修士課程）あるいは前期後期一貫の博士課程に入学した者。

- 1 教育学研究科
教育科学専攻
- 2 工学研究科
建築学専攻・機械理工学専攻・マイクロエンジニアリング専攻・航空宇宙工学専攻
- 3 情報学研究科
知能情報学専攻・社会情報学専攻・数理工学専攻・システム科学専攻・通信情報システム専攻

4 経営管理大学院 経営管理専攻

なお、情報学研究科においては、平成24年10月に博士前期課程（修士課程）に入学している者も出願資格を有する。この場合、本プログラムの修了時期は、原則として平成29年度末となる。

また、本追加募集に限り、平成24年4月に上記の研究科・専攻の博士前期課程（修士課程）あるいは前期後期一貫の博士課程に入学した者も出願資格を有するものと認める※。この場合、本プログラムの修了時期は、原則として平成29年度末となる。

※この措置は、平成25年4月内示の京都大学博士課程教育リーディングプログラム運営委員会の裁定に基づくものである。

Ⅲ. 出願書類等（*印は、本要項に添付の所定用紙をダウンロードし使用すること。）

提出書類は日本語または英語で作成すること。日本語あるいは英語でない書類には、日本語訳あるいは英語訳を添付すること。

- ①願書*
- ②志望調書*
- ③出身大学の学業成績証明書

Ⅳ. 出願手続

1 出願者は、出願書類等を次の提出先（受付場所）へ持参または、郵送により提出すること。郵送の場合は、封筒の表に「出願書類在中」と朱書し、必ず書留速達便とし、郵送先へ郵送すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、こちらから問い合わせることがある。

2 他のリーディング大学院プログラムとの併願は認めない。

【出願書類等受付日】平成25年4月30日（火）～平成25年5月8日（水）

受付時間：平日の午前10時から午後5時まで（正午から午後1時の間を除く）。

（郵送による受付は、平成25年5月8日（水）午後5時までの到着分とする。）

【提出先】

吉田キャンパス：京都大学学際融合教育研究推進センター
デザイン学大学院連携ユニット事務室
（工学部物理系校舎北棟6階 605号室）

桂キャンパス：京都大学大学院工学研究科
Cクラスター事務区教務第二掛（Cクラスター事務棟）

郵送先：606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院情報学研究科 気付
デザイン学大学院連携ユニット事務室 宛 TEL (075) 753-3581

V. プログラム履修候補生(予科生)選抜方法、審査日程及び選抜結果の発表

追加募集の履修候補生(予科生)の選抜方法、審査日程及び選抜結果の発表については、志願者に追って通知する。

VI. プログラム予科について

プログラム履修候補生(予科生)は前期の間に、所属研究科の課程の履修を進めるとともに、本プログラムの目的と内容を理解し、自らの能力と適性を確かめる。

そこで、4月にプログラム履修候補生を募集し、原則として5月～9月に予科を設ける。9月末に候補生の中から20名をプログラム履修者として選抜し、10月から本格的にこのプログラムに参加することとなる。

- * デザイン学予科の期間中に本プログラムの履修を辞退する場合は、書面(様式自由、署名または捺印すること)にて、デザイン学大学院連携ユニット事務室に届け出ること。

VII. プログラム履修生(本科生)の選抜方法

9月末にプログラム履修候補生(予科生)からプログラム履修生(本科生)を選抜する。選抜の際の判断材料は、

- (1) デザイン学予科生での履修状況
 - (2) デザイン学予科生での課題提出状況
 - (3) デザイン学大学院連携プログラム主催による研究発表会、セミナー、スクール等の実績
 - (4) TOEFL/TOEIC/IELTS の成績 *
- (TOEFL/TOEIC/IELTS テスト受験に関する注意事項)
- ① ペーパー版 TOEFL (TOEFL PBT)、インターネット版 TOEFL (TOEFL iBT) のいずれかの受験者用控えスコア票 (Examinee's Score Record) の原本、TOEIC の個人用公式認定書の原本、または IELTS の公式成績証明書の原本 (いずれもコピー不可) を本科生の出願時に提出すること。
 - ② 出願者が受験した所属研究科等入学試験出願締切日の2年前から、本科生の出願の締切日までに受験した TOEFL/TOEIC/IELTS テストのスコア票に限り提出が可能である。団体試験用の TOEFL ITP のスコア票やカレッジ TOEIC 等の団体特別受験制度 (IP テスト) は受け付けないので注意すること。
 - ③ 提出したスコア票の原本は、後日返却する。
 - ④ TOEFL、TOEIC、IELTS を合わせて複数回受験している場合、そのうちいずれか1つのスコア票を提出すること。

* 大学院入試科目に課していない教育学研究科大学院生は、指導教員の推薦書をもって替えることができる。

詳細については、履修候補生（予科生）にオリエンテーション等を通じて適切な時期に通知する。

VIII. プログラム履修生(本科生)の発表

プログラム履修生（本科生）の発表は9月末までにデザイン学大学院連携プログラムホームページにおいて行う。

プログラム履修生（本科生）として選ばれた者は、10月以降、所属研究科の修了要件を満たすよう単位等を修得しつつ、デザイン学連携大学院プログラムを本格的に履修することとなる。

IX. 個人情報の取扱いについて

取得した個人情報は、プログラム履修候補生・履修生の選考及び履修にともない必要となる業務のために「京都大学における個人情報の保護に関する規程」の定めるところにより取り扱う。

X. その他

【問合せ先】

〒606-8501 京都大学学際融合教育研究推進センター
デザイン学大学院連携ユニット事務室
(工学部物理系校舎北棟6階 605号室)

TEL (075) 753-3581

(時間 平日：午前9時～午後5時〈正午～午後1時を除く〉)

平成25年4月

在職期間（年月日） / Period	勤務先名・所属・職名及び資格等 / Employer, position etc.	
～		
～		
～		
【賞 罰】 Awards and distinctions		
年月 / Date (YYYY.MM)	事項 / Content	
【奨学金】 受給実績（予定を含む。） Scholarship (already effective or planned)		
支給機関 / Issuing institution	期間 / Period	金額（月給） / Monthly amount

博士課程教育リーディングプログラム（複合領域型・情報）
Program for Leading Graduate Schools (multidisciplinary・Information)

デザイン学大学院連携プログラム
Collaborative Graduate Program in Design

※パソコンで作成し、印字したものも可

※You may use PC to print

【志望の動機】（800字程度）

Reason and motivation for application to this program (approximately 300 words)

